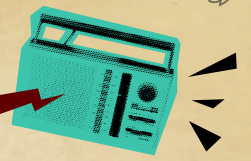




「ヴェネツィアのことばTERUに聞け!」発



TERUによるヴェネツィア渡航攻略ガイド!

*チケット購入者特典のガイドブックと合わせて、ぜひご活用ください!

MAP BY TERU

ART EXHIBITION



ヴェネツィアという街

Venezia

- イタリア北東部に位置する「水の都」「ガラスの街」
 - 数百年前からほぼそのままの美しい街並み
 - 市内の移動は車ではなく、水上バスやゴンドラが中心
- 移動は“歩く+船に乗る”が基本

“旅の快適さを左右する”服装と足元

- ◆ 6月の服装は半袖でOK、日差し&朝晩の冷え対策に薄手のウィンドブレーカーやカーディガンが役立つ!
- ◆ レストランなどの店舗のクーラー対策としても羽織ものは必携!
- スニーカーや歩きやすいスポーツサンダルなど
- ✕ ハイヒールや踵の高い靴

by 土田さん

→ 石畳が多く、とにかく歩くので靴選びが最重要

昼は半袖でOKだけど、羽織れるものが一枚あると安心!

ヒールがある靴は本当に危ないからやめた方がいい!

機内での過ごし方

☞ 機内ではしっかり寝る = 到着後がかなり楽

- ◆ しっかり睡眠をとることは時差ボケ対策にも有効!

眠るための必須アイテムはこちら↓

- ◆ ネックピロー(オフィシャルアクセスツアー参加者には特典グッズについてます)
- ◆ ノイズキャンセリングイヤホン(機内は意外と音がうるさいので、音を遮断して睡眠の質を上げるのが大事!)

搭乗後はだいたい映画を1本観て、その後寝ます! 観たい映画や映像は事前にダウンロードしておくのが ○



“これだけは意識して”防犯対策

☞ 荷物は基本“体の前で持つ”

- ✕ リュックはNG(背後から狙われやすい)
- 斜めがけバッグを前で持てば◎、ファスナーのついたものもおすすめ

→ 観光地のため、スリ対策に気をつけて!

by 土田さん

- ◆ 「この人距離が近いな」と感じたら、目を合わせて「気づいている」と示すことで抑止効果あり

今回は、スリ対策やさまざまな誤解を生まないためにも、ZURAリュックはお留守番が良いと思いますが…どうしてもお供に持っていきたいという方は、グッズのリュックカバーを入手してくれたかもしれませんね! 皆さん、細心の注意を払って安全に観光を楽しみましょう!

チップはどうする!?

👉 義務ではなく“気持ち”でOK

- ◆ レストラン：会計の約10%（過度に高額にする必要はない）
- ◆ ポーター：1ユーロ程度（荷物を部屋まで運んでもらった場合など）
- ◆ カフェや小さな店舗（レジ横にあるカップなどにお釣り程度入れると喜ばれる）
- ◆ 1ユーロより少額の硬貨はチップとして使わず、空港にある余った小銭を寄付するBOXに入れよう!

→ 厳密なルールはなし

1ユーロや2ユーロ硬貨を5枚ほど用意しておくといいと思います!

言葉やコミュニケーション

👉 英語＋少しのイタリア語で十分

- ◆ 観光地で対応に慣れているため、過度な心配は無用
- ◆ 翻訳アプリも使用可能（インターネット通信環境には注意が必要）

覚えておくと便利なイタリア語

- ◆ Ciao(チャオ) = こんにちは / さようなら
- ◆ Prego(プレゴ) = どうぞ / お先にどうぞ
- ◆ Grazie(グラッツェ) = ありがとう → 一言あるだけで空気が柔らかくなる

by 土田さん

- ◆ Buongiorno(ボンジョルノ) = おはようございます / こんにちは
- ◆ Bene, grazie, e tu? (ベーネ、グラッツェ、エトゥ) = 元気です、ありがとう、あなたは?

「Prego」はめっちゃ使う! 便利な言葉(笑)

Ciao!

Prego!

Grazie!



現地で便利なツール・事前準備

- ◆ Google 翻訳アプリが便利。カメラ翻訳でメニュー・案内板も読める
- ◆ 翻訳アプリは事前にダウンロードしておこう!
- ◆ ホテルに水・軽食を備蓄しておくとお安心!
- ◆ ヴェネツィアは車両進入禁止区域と車両通行可能区域が分かれている特殊な街なので、宿泊先ホテル周辺の地図やアクセス方法を事前にしっかり確認しておくとお安心!

◆ 時差ボケ対策アプリ「タイムシフター (TimeShifter)」

by 土田さん

NASAの宇宙飛行士向け睡眠管理アルゴリズムを元に開発されたアプリ! (初回1フライト無料)
航空券情報を入力するだけで、出発数日前からの生活リズム・機内での過ごし方を1時間単位で指示してくれる。帰国後の時差ボケ・疲労軽減にも効果的なので、ぜひ試してみてください!

現地の生活・買い物事情

👉 日本とは少し感覚が違うので注意

- ◆ 24時間営業のコンビニはなし
- ◆ スーパーの営業時間はだいたい10時~21時頃まで
- ◆ 夜遅い時間は小規模な売店で飲み物やスナック、日用品などの購入が可能
- ◆ バーや売店では、飲み物・ピザ・サンドイッチなどの購入が可能
- ◆ 食べ歩き文化あり(屋外飲食は一般的)
- ◆ 日本食・日本の商品はほぼ入手不可なので、梅干しや日本のお菓子は持参していくことをおすすめします!
- ◆ 支払いは基本クレジットカードでOK
- ◆ 小銭はチップ・有料トイレ用に少しあると便利

早く閉まるお店も多いので、夜の買い物は早めがおすすめ!

番外編 fromスタッフ

慣れない海外での思わぬトラブルや体調不良に備えて、海外旅行保険への加入をおすすめいたします!
クレジットカード付帯保険は補償内容が限られる場合もあるため、出発前に確認し、必要に応じて追加の保険加入をご検討ください。

グルメ

👉 おすすめ

- ◆ イカ墨パスタ(定番!どこで食べても美味しい)
- ◆ タラのすり身トースト
- ◆ ムラーノ島のロールサンドイッチ
- ◆ ベリーニ(桃+シャンパン)
- ◆ アペロールスプリッツ(ヴェネツィア発祥の定番食前酒)

by 土田さん

- ◆ サルディン・サオール(Sarde in Saor)
イワシの南蛮漬け風マリネ(玉ねぎ・白ワインビネガー・松の実・レーズン)。
6月中旬はアドリア海でイワシが旬なのでおすすめ!
- ◆ 白アスパラガス・ラディッキョ
ヴェネツィア周辺産の旬野菜。単独でも、パスタやリゾットのソースとしても提供されます。
発泡性白ワインとの相性が良く、居酒屋(パーチェッティ)でも注文可能!

イカ墨パスタはどこで食べても美味しいから、ぜひ食べてほしい!

JIROと行った時は、どこに入ってもアペロールスプリッツばかり飲んでた(笑)



公演会場のあるリド島とは?

- ◆ 美しいビーチや高級ホテル、歴史的建築物などが並ぶ高級リゾートエリアでアドリア海を臨む優雅な風景が楽しめる!
- ◆ 公演会場周辺にもジェラートや飲み物を販売する小さな店舗があって便利!

“思い出を残すなら”写真の楽しみ方

👉 アナログが映える街

運河や石畳と相性が良いから
旅の記録にはインスタントカメラやポラロイドカメラがおすすめ!

トイレ事情

- ◆ 公衆トイレは少なめ、有料トイレが主流(小銭必要)
- ◆ ホテル・美術館・教会で借りられる場合もあり
- ◆ 紙がない場所もあるため携帯ティッシュは必携!
- ◆ 便座がない場合もあるので驚かないで!
- ◆ レストランやカフェなどの施設を利用した際に借りるのがおすすめ

上級テクニック カフェなどでは1~2ユーロ払うことでトイレを貸してくれる風習もあり

by 土田さん



土田さんの工房でTERUの個展も開催

TERU'S ART EXHIBITION "DREAMY" IN VENEZIA

- ◆ 会場：ムラーノ島 フランコ・スキアヴォン・ギャラリー
- ◆ 6月12日(金)~11月22日(日) 10:00 ~ 17:00 入場無料
- ◆ ムラーノ島へは水上バスでアクセス可能
- ◆ ガラス作品・絵画作品を分けて展示予定
- ◆ 約7~8年ぶりに窯入れを実施~ガラス制作の作業場も公開されるかも!?
- ◆ ムラーノ島
ベネチアから船で約15~18分。1400年の歴史を持つガラス工芸の島!
土田さんのギャラリーは船着き場から徒歩20~30秒の場所に位置します。

主要エリアからムラーノ島までの水上バスアクセス方法

ムラーノ島へアクセス可能な対象路線

◆ 4.1号線 (左回り / 反時計回り) ※ 20分に1本の運航

サン・マルコ広場 → ムラーノ島 → サンタ・ルチア駅 → ピアッツァ・ローマ → サン・マルコ広場
※サン・マルコ広場での停留所【San. Marco - San Zaccaria "E"】

◆ 4.2号線 (右回り / 時計回り) ※ 20分に1本の運航

サン・マルコ広場 → ピアッツァ・ローマ → サンタ・ルチア駅 → ムラーノ島 → サン・マルコ広場
※サン・マルコ広場での停留所【San. Marco - San Zaccaria "D"】

◆ 7号線 ※30分に1本の運航

サン・マルコ広場 ⇄ ムラーノ島の直行便
※サン・マルコ広場での停留所【San. Marco - San Zaccaria "E"】

◆ 3号線 ※ 20分に1本の運航

ピアッツァ・ローマ発、ムラーノ島 行き

◆ サン・マルコ広場より

往路 【San. Marco - San Zaccaria "E"】より、ヴァポレット(水上バス)7号線に乗船し、ムラーノ島【Murano Colonna "B"】で下船

復路 ムラーノ島【Murano Colonna "B"】より、ヴァポレット(水上バス)7号線に乗船し、【San. Marco - San Zaccaria E】で下船

◆ スプレンドイド・ホテルより

往路 ① ホテルから徒歩で、ヴァポレット(水上バス)乗り場【F.te Nove "B"】まで移動。※徒歩15分

② 【F.te Nove "B"】より、ヴァポレット(水上バス)4.1号線に乗船し、ムラーノ島【Murano Colonna "B"】で下船

復路 ムラーノ島【Murano Colonna "B"】より、ヴァポレット(水上バス)4.2号線に乗船し、【F.te Nove "C"】で下船

◆ インディゴ・ヴェネツィア・サンテレナより

往路 ホテル最寄り【S.Elena-Stadio Penzo "C"】より、ヴァポレット(水上バス)4.1号線に乗船し、ムラーノ島【Murano Colonna "B"】で下船

復路 ムラーノ島【Murano Colonna "B"】より、ヴァポレット(水上バス)4.2号線に乗船し、【S.Elena-Stadio Penzo "B"】で下船

◆ トロンケットより ※メストレ地区宿泊のお客さま

往路 ① People Mover(トラム)に乗車し、【Piazzale Roma】へ。※水上バス乗り放題券利用可能。

② 【Piazzale Roma "D"】より、ヴァポレット(水上バス)3号線に乗船し、ムラーノ島【Murano Colonna "A"】で下船

復路 ムラーノ島【Murano Colonna "A"】より、ヴァポレット(水上バス)3号線に乗船し、【Piazzale Roma "E"】で下船

◆ B&B ホテル ヴェネツィア ラグーナより

◆ ハンプトン バイ ヒルトン・ベニス・イゾラ・ヌオヴァより

往路 ① People Mover(トラム)に乗車し、【Tronchetto】より【Piazzale Roma】へ。

② 【Piazzale Roma "D"】より、ヴァポレット(水上バス)3号線に乗船し、ムラーノ島【Murano Colonna "A"】で下船

復路 ① ムラーノ島【Murano Colonna "A"】より、ヴァポレット(水上バス)3号線に乗船し、【Piazzale Roma "E"】で下船

② People Mover(トラム)に乗車し、【Piazzale Roma】より【Tronchetto】へ。

◆ ノボテル ベネツィア メストレ カステラーナより

往路 ① 路線バス8Eにて、【Castellana Santa Chiara】から【Piazzale Roma】へ。

② 【Piazzale Roma "D"】より、ヴァポレット(水上バス)3号線に乗船し、ムラーノ島【Murano Colonna "A"】で下船

復路 ① ムラーノ島【Murano Colonna "A"】より、ヴァポレット(水上バス)3号線に乗船し、【Piazzale Roma "E"】で下船

② 路線バス8Eにて、【Piazzale Roma】から【Castellana Santa Chiara】へ。

TERUおすすめ観光コース(約6時間)

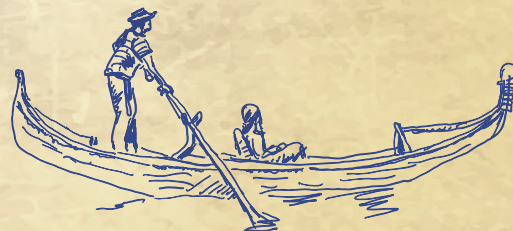
1. 午前10時ホテル出発～ヴェネツィア本島観光
2. 昼食(イタリア料理)
3. ペギー・グッゲンハイム美術館(滞在時間:約2時間)
サン・マルコ広場からのアクセス
◇水上バス<ヴァポレット>(約20分) San Marco Vallaresso 駅から1番線でSalute 駅へ。下車後、徒歩5分。
◇徒歩(約15分) 西へ10分ほど進み「アカデミア橋」を渡って左折。そこから徒歩5分。
4. 周辺の教会を散策!ゴンドラで移動すればさらに観光気分が味わえます!
◆ゴンドラ
料金は少し割高になりますが、移手段というよりは、ヴェネツィアらしさを体感できるのでおすすめ!
ヴェネツィア本島内には10箇所以上のゴンドラ乗り場があり、
乗り場によって通るコースが異なるため、目的に合わせて選ぶのがポイント!
【交渉・予約】
乗り場に市公認の料金表が掲示されています。
直接ゴンドリエーレ(船頭)に声をかけて交渉するか、事前にツアーなどで予約しておくとう安心!



効率よく無理なく“いいとこ取り”

これくらいのボリュームがちょうどいいと思う

ゴンドラには一回は乗ってほしいな



土田さんおすすめ観光スポット!

3時間程度の空き時間があれば、まずサン・マルコ広場を訪れてほしいです!

- ◆ サン・マルコ大聖堂は24金のモザイクで装飾された美しい建築で、多少並ぶことがあっても内部は必見の価値あり
大聖堂裏側のドゥカーレ宮殿ではヴェネツィア・ビエンナーレの展示も一部行われており、中世の古い美術と最先端の現代アートが同時に楽しめる
- ◆ サン・マルコ広場周辺はショッピング街にもなっており、お土産購入や自分へのプレゼント探しも一度にできる一石二鳥のエリア
- ◆ ヴェネツィアの歴史・建築・美術がサン・マルコ広場に凝縮されており、場所的にも中心部に位置するため、移動時間も短く効率的に観光できる

最後に…

ヴェネツィア観光は、とにかく“歩く”ことが基本!
歩きやすい靴を選ぶこととスリ対策をしっかりとすることが、快適に過ごすための大事なポイントです!
GLAYの公演はもちろん、美しい街・ヴェネツィアを、安全に楽しんでください!